



ひとつぶの種

杭州日本人学校
学校便り第 139 号
令和 2 年 7・8 月号

「言葉の力」～大切にしたい言葉遣い～

ぐずついた天気が続き、杭州の地でも梅雨を実感する季節となりました。湿度が高く寒暖差も大きいため、子どもたちが体調を崩しやすくなっているようです。これから一段と蒸し暑くなっていきます。学校では、空調を適切に使用して、子どもたちの体調管理に留意していきたいと思います。



さて、学校の意義の一つにみんなで学ぶことがあります。学校の授業や友人とのやりとり、特別活動などの様々な活動を通して、今まで知らなかった知識や情報を得る。また、集団生活において自分の役割や責任を果たすことの大切さを学ぶ。更には、教師や上級生・下級生など様々な人とのコミュニケーションスキルを学びながら日々を過ごす。これらの意義を踏まえて、みんなで学ぶためには、子どもたちが互いを尊重し認め合う姿勢が大切になってきます。



子どもたちがつながっていくためには、自分の思いをうまく相手に伝える力や、相手の話を聴く力を養っていくことが必要になってきます。

学校では、自分の思いや感情を相手にぶつけるだけの「乱暴な言い方、人を傷つけてしまう言い方、見下すような言い方、差別的な言い方」などの言葉遣いに関してきちんと指導をしていくとともに、相手の気持ちや思いをしっかりと受けとめて考えることができる子どもになってもらいたいと願っています。

人は言葉でつながり、言葉によって支えられています。言葉には力があります。だからこそ、授業中はもとよりあらゆる場面で相手のことを大切にしたい言葉遣いができるように指導を行ってまいります。

ご家庭でも、乱暴な言葉を使わず相手を思いやる言葉遣いをする事や目上の人に対して丁寧な言葉遣いで話すことなどを教えていただければありがたいです。



学級や学校の生活の中で、子どもたちが互いを尊重し合い、1人1人が大切にされ、共に学び共に成長していくことのできる学級づくり、学校づくりができるよう、教職員一同、指導の充実に努めていきます。保護者の皆様におかれましてもご理解とご協力をよろしくお願いいたします。